

# ウズベキスタンコミュニティの取り組み



## 現在までの取り組みと今後に向けて

**背景** 在日ウズベキスタン出身者 約7,000人（多くが留学生）。日本語学校修了後の進路、大学院進学、研究（論文・指導教員・奨学金）に関する情報・つながり・支援の仕組みが不足。とりわけ、来日前に得られる正確な情報が足りない。

### 取り組み① 新規来日者向けオリエンテーション

笹川平和財団・CINGAと連携（「ヤポニヤガ・イルク・カダム＝日本への第一歩」）

#### 2024年度：

- ・ オリエンテーション動画 2本を制作（合計 1,400回以上 視聴）

#### 2025年度：

- ・ 対話型オリエンテーションを実施（参加者 45名）

→ 来日前の情報提供・先輩の助言が有効との声を多数

### 取り組み② Uzbek Academic Club（UAC）

コミュニティ自身の取り組み／名古屋大学 ウミルディノフ・アリシエル教授と共同設立（2024年～）

- ・ これまで 11回 開催（2か月に1回）
- ・ 筑波大学・横浜国立大学・東京外国語大学 など
- ・ 博士・修士の学生が後輩へ体験共有（進学・就職・生活）

→ 大学の枠を越え、留学生同士が一つのネットワークに

コミュニティの中には、UAC のように自ら課題解決に動く若者がいる。

「支えられる側」ではなく、行政・企業と共に取り組む「パートナー」へ。